

架け橋

「社会教育士」は、社会教育主事講習等規程の一部改正によって令和2年度から始まった制度です。このロゴは支える学びの先にある多様な人々が連携・協働する様子を表しています。

社会教育における学びは、色も形も違う人と人、組織と組織などを、色も形も多様なまま、つながりを作っていきます。



社会教育士

学校と地域の協働活動をさらに進めるために…

こんな連携・協働があります！

栃木県立鹿沼南高等学校 ☎0289(75)2231

詳細👉「南高校 HP→トップページ→お知らせ→R4.出前授業リーフレット」

／ 担当者に聞きました！ ／

こんな活動をしています！

①食材の提供

- ・南高校で作った、梨・大根・ねぎ等の食材を、給食用に提供
- ・食材の生育紹介動画を、学習資料として作成・提供

②花壇の整備

- ・小学校では花の植え替え体験
- ・中学校では花壇づくり
- ・花の知識や植え方を教えます

③地元の農畜産物の学習

- ・鹿沼和牛の育て方
- ・鹿沼市特産ニラの生産
- ・栃木県の梨について 等

④育児体験、木工体験、調理補助

- ・樹木の剪定 ・コースター制作
- ・ライフデザイン科生徒による保育学習等 (おむつ替え体験、紙芝居、蒸しケーキづくり等)

連携・協働活動の事例

北押原中では、コロナ禍以前に南高校の生徒による出前授業で、通学路の花壇づくりを行いました。ピオラやパンジーなどの植え方を教わり、毎日通ういつもの道が色とりどりの花でにぎやかになりました。

北押原小では、ここ数年コロナ禍により地域と連携・協働した学習の機会が少なくなりましたが、次年度は、南高校の皆さんが子どもたちの学習のために作成してくださった動画資料等を活用して、楽しく「食に関する学習」ができる活動を計画しています。

※②～④は、高校生による出前授業



北押原中 花壇づくり

上都賀地区内の社会教育主事有資格者の仲間を紹介します♪

敏腕シェフ!?



私は
刀
流

3年担任・児童指導主任



日光市立猪倉小学校
山本 剛史 教諭

もう20年前の話ですが、地元の静岡でイタリア料理を作っていたことがあります。料理が好きで、当時のマスターからいろいろなことを教わりました。ありきたりですが、お客様から「美味しかったよ。また来るね!」と言われると、また美味しいものを作ろうという意欲が湧いてきました。

教員になってからは、同僚や知り合いに料理を振る舞っています。これは料理を通じた社会教育的な活動ではないのかなと思っています。参加者の楽しい一時に、つながりに一役かかっていれば嬉しいです。これからも続けていきたいなと思います。「Bon Appetit!」

本校に赴任して1年目、3年生のかわいい子どもたちの担任や児童指導主任として日々、業務に邁進しています!また、地域とのつながりを教育の現場でどのように活かしていくのかを先生方を巻き込んで奮闘中です!「猪倉おやじの会」も絶賛活動中です。年に数回イベントを開催しています。

昨年の夏には、親子でナイトウォークを行いました。蛍を見た後、校庭で花火大会を実施しました。子どもたちの楽しそうな笑顔が印象に残っています。その笑顔をつくった保護者や地域の方々には最高だなと思いました。

もっと知りたい!

地域学校協働活動～日光市立今市第二小学校～

平成29年度、当時の校長先生の熱い想いから始まった「今二小サマースクール」は、今年度で4回目を迎えました。これまでは公民館とも連携しながら、公民館講座の受講生に講師を担っていただく形で、学校が中心となって実施してきました。

しかし、今回は3名の地域コーディネーター（平野喜与子さん、中里美香さん、加藤利枝さん）と教職員とで話し合いを重ね、2日目の活動については、地域コーディネーターを中心としたサマースクール実行委員会が企画・運営をすることとなりました。地域コーディネーターの方々がもっている講師情報と経験、コロナ禍で減っている体験活動の機会を提供したいという思いから「タイダイ染め」と「鹿革クラフト」を実施しました。

「地域による学校支援」から「学校と地域がパートナー」となって作り上げる事業へとリノベーションしたことで、子どもたちだけでなく、大人も笑顔で活動し、夏の大切な思い出の一つになりました。



図工の宿題（絵画）作成



タイダイ染め 作成

わしが「これからの学校や地域」について解説していくのじゃ



教えて!ふくろう先生

①地域学校協働活動の“リノベーション”のススメ

💡 既存の活動を点検し、よりよい活動に改善していきましょう

「地域学校協働活動」は地域のさまざまな住民、保護者、PTA、NPO、企業、団体などの幅広い参画によって、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとなって行うさまざまな活動です。具体的には、各校において、すでに実践している学習ボランティアによる授業補助、ふるさと学習、課題解決学習、キャリア教育支援、読み聞かせ、登下校の見守り、学校行事、放課後子ども教室、家庭教育支援活動等のことで、その一つ一つは学校や地域にとって大きな財産となっています。

R5年度からの上都賀地区内小・中学校「コミュニティ・スクール」全校導入を機会に、これらの活動について次の視点で見直し、子どもたちに地元への愛着や生きる力を育みながら、より持続可能で質の高い活動へと“リノベーション”していきましょう。

💡 リノベーションの視点

☑【視点1】連携の目標（何のためにやるのか）を明確にしているか

- ⇒活動にかかわる全員が目標を共有しているか
- ⇒児童生徒の発達の段階を踏まえた内容になっているか

例 小学生段階：地域の人々の顔を知る、地域の人々とのかわり学ぶ
 中学生段階：地域を学び地域の役に立つ、地域の中の自分・役割を学ぶ
 高校生段階：学んだ成果を地域で生かす、地域課題解決・キャリア教育等

☑【視点2】PDCA サイクルを回しながら活動を点検しているか

- ⇒活動の評価を行いながら取組の発展が見られるか

☑【視点3】幅広い住民が参画しているか

- ⇒連携・協働が期待される地域資源は無量大∞
- 例 ヒト・モノ（社会教育施設等）・コト（伝統行事等）探してみましょう!

